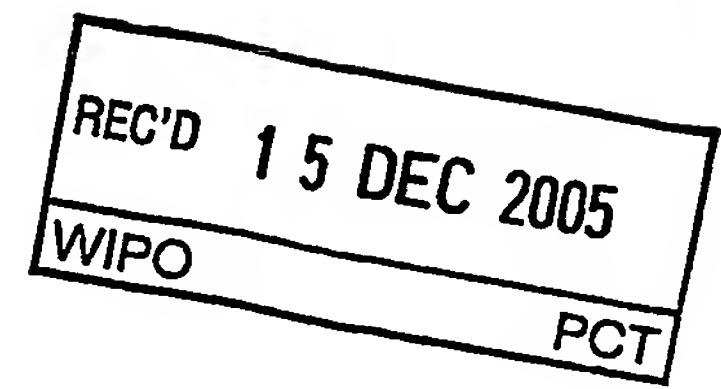


特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告（特許協力条約第二章）

(法第12条、法施行規則第56条)
[PCT36条及びPCT規則70]



出願人又は代理人 の書類記号 F1040753W000	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP2004/015761	国際出願日 (日.月.年) 19.10.2004	優先日 (日.月.年) 22.10.2003
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. H04M1/725, 1/00, H04N5/445, H04Q7/38		
出願人 (氏名又は名称) 三洋電機株式会社		

1. この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。
法施行規則第57条 (PCT36条) の規定に従い送付する。

2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 4 ページからなる。

3. この報告には次の附属物件も添付されている。

a. 附属書類は全部で 14 ページである。

振正されて、この報告の基礎とされた及び／又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び／又は図面の用紙 (PCT規則70.16及び実施細則第607号参照)

第I欄4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙

b. 電子媒体は全部で _____ (電子媒体の種類、数を示す)。
配列表に関する補充欄に示すように、電子形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。
(実施細則第802号参照)

4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。

第I欄 国際予備審査報告の基礎
 第II欄 優先権
 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
 第IV欄 発明の単一性の欠如
 第V欄 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
 第VI欄 ある種の引用文献
 第VII欄 国際出願の不備
 第VIII欄 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 11.08.2005	国際予備審査報告を作成した日 01.12.2005
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 古市 徹 電話番号 03-3581-1101 内線 3526
	5G 3053

第I欄 報告の基礎

1. 言語に関し、この予備審査報告は以下のものを基礎とした。

出願時の言語による国際出願
 出願時の言語から次の目的のための言語である _____ 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文
 国際調査 (PCT規則12.3(a)及び23.1(b))
 国際公開 (PCT規則12.4(a))
 国際予備審査 (PCT規則55.2(a)又は55.3(a))

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条 (PCT第14条) の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

出願時の国際出願書類

明細書

第 1, 11-46	ページ、出願時に提出されたもの
第 2-10	ページ*、11.08.2005 付けて国際予備審査機関が受理したもの
第 _____	ページ*、_____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

請求の範囲

第 2	項、出願時に提出されたもの
第 _____	項*、PCT第19条の規定に基づき補正されたもの
第 1, 3-18	項*、11.08.2005 付けて国際予備審査機関が受理したもの
第 _____	項*、_____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

図面

第 1-18	ページ/図、出願時に提出されたもの
第 _____	ページ/図*、_____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの
第 _____	ページ/図*、_____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. 補正により、下記の書類が削除された。

<input type="checkbox"/> 明細書	第 _____	ページ
<input checked="" type="checkbox"/> 請求の範囲	第 19, 20	項
<input type="checkbox"/> 図面	第 _____	ページ/図
<input type="checkbox"/> 配列表 (具体的に記載すること)	_____	
<input type="checkbox"/> 配列表に関するテーブル (具体的に記載すること)	_____	

4. この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

<input type="checkbox"/> 明細書	第 _____	ページ
<input type="checkbox"/> 請求の範囲	第 _____	項
<input type="checkbox"/> 図面	第 _____	ページ/図
<input type="checkbox"/> 配列表 (具体的に記載すること)	_____	
<input type="checkbox"/> 配列表に関するテーブル (具体的に記載すること)	_____	

* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条（PCT35条(2)）に定める見解、
それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲 <u>1-14, 16-18</u>	有
	請求の範囲 <u>15</u>	無
進歩性 (I S)	請求の範囲 <u>7, 8, 10, 14, 18</u>	有
	請求の範囲 <u>1-6, 9, 11-13, 16, 17</u>	無
産業上の利用可能性 (I A)	請求の範囲 <u>1-18</u>	有
	請求の範囲 _____	無

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

文献1 : JP 8-125723 A (株式会社東芝)
 1996. 05. 17, 明細書 [0053] ~ [0057] 欄
 & US 5890071 A1

文献2 : JP 7-030872 A (カシオ計算機株式会社)
 1995. 01. 31, 明細書 [0023] 欄、図面 [図8]
 (ファミリーなし)

文献3 : JP 11-196397 A (キヤノン株式会社)
 1999. 07. 21,
 明細書 [0033] ~ [0041] 欄、図面 [図5] 及び [図6]
 (ファミリーなし)

請求の範囲15について

文献1には、テレビ放送を受信可能な携帯電話機において、着信時にスーパーインポーズ処理にて着信を知らせることが記載されており、該文献1から、請求の範囲15は新規性及び進歩性を有さない。

補充欄

いずれかの欄の大きさが足りない場合

第 V.2 欄の続き

請求の範囲 1 – 6、9、11 – 13、16、17について

文献 1 には「請求の範囲 1 5について」にて述べた事項に加え、着信時放送音声を制限することについての記載がある。

文献 2 には、テレビ電話において、着信時にテレビ表示部を縮小表示して、着信者情報をテレビ表示部と並べて表示する技術が記載されている。

文献 3 には、携帯型テレビ電話機において、姿勢方向に応じて 2 分割された画面上の表示の大きさを縮小しつつ表示方向を変更する技術が記載されている。

そして、文献 1 の携帯電話機に、文献 2 及び 3 の技術を適用することは当業者が容易に想到し得ることである。

よって、文献 1 ~ 3 より、請求の範囲 1 – 6、9、11 – 13、16 及び 17 は進歩性を有さない。

請求の範囲 7、8、10、14、18について

文献 1 ~ 3 には、切替指示受付手段及び音声出力手段について、記載も示唆もされていない。

やすいように表示することができる携帯電話機及び表示方法を提供することを目的とする。

発明の開示

5 上記目的を達成するために、本発明は、映像信号を受信して、映像を画面に表示する携帯電話機であって、着信に係る着信情報、又は利用者による所定操作の検知に係る検知情報を取得する取得手段と、自機への着信に係る表示情報を生成する生成手段と、前記着信情報又は検知情報を取得した場合に、前記映像を前記画面に表示しているサイズに比べ縮小して縮小映像を生成し、生成した縮小映像を、前記画面を2分割した一方である第1表示領域にて表示し、前記表示情報を前記画面のうち前記第1表示領域を除く第2表示領域にて表示する表示手段とを備える。

この構成によれば、携帯電話機は、着信情報、又は検知情報を取得すると、画面に表示している映像と、自機への着信に係る表示情報を2分した画面のそれぞれに表示するので、画面への映像表示を中断することなく、当該表示情報を使用者に通知することができる。

例えば、携帯電話機は、テレビ放送やテレビ電話等の映像を画面に表示中に、電話や電子メールの着信が発生した場合に、テレビ放送やテレビ電話等の映像を表示したまま途切れるさせることなく、着信に関する、発信元の電話番号やメールの送信元のメールアドレスなどの表示情報を表示することができ、また、開閉式の筐体で構成された携帯電話機において、筐体を閉状態でテレビ放送やテレビ電話等の映像を画面に表示中に、利用者が筐体を開状態にしたことを検出した場合に、テレビ放送やテレビ電話等の映像を表示したまま途切れるさせることなく、着信に関する、発信元の電話番号やメールの送信元のメールアドレスなどの表示情報を表示することができる。

ここで、前記着信情報は、発信元を識別する識別情報を含み、前記生成手段は、前記識別情報に基づき前記表示情報を生成してもよい。

この構成によれば、携帯電話機は、着信情報を取得すると、画面に表示している映像と、自機への着信に係る表示情報である発信元の識別情報を2分し

た画面のそれぞれに表示するので、画面への映像表示を中断することなく、当該表示情報を使用者に通知することができる。

例えば、携帯電話機は、テレビ放送やテレビ電話等の映像を画面に表示中に、電話や電子メールの着信が発生した場合に、テレビ放送やテレビ電話等の映像を表示したまま途切れるさせることなく、着信に関する、発信元の電話番号やメールの送信元のメールアドレスなどの表示情報を表示することができる。
5

ここで、前記表示手段は、前記第1表示領域と前記第2表示領域との面積の比率を示す比率情報を記憶しており、前記比率情報に基いて、前記映像を縮小して前記縮小映像を生成してもよい。

この構成によれば、携帯電話機は、記憶している比率情報に基いて、縮小映像を生成して、生成した縮小映像を第1表示領域にて表示し、取得手段にて取得した識別情報を第2表示領域にて表示することができる。これにより、携帯電話機は、予め記憶している面積比率にて、映像と識別情報を表示することができる。
10

ここで、前記携帯電話機は、さらに、前記映像信号に対応する音声信号を受信して、音声を出力し、前記携帯電話機は、さらに、前記着信情報を取得すると、出力される音声の音量を調節する音量調節手段と、前記音量調節手段にて調節された音量に基づいて、音声を出力し、又は消音とする音声出力手段とを備えてもよい。
15

この構成によれば、携帯電話機は、映像を表示中に着信信号を受信すると、出力される音声の音量を調節し、調節した音量に基いて、音声を出力又は消音とすることができます。
20

ここで、前記取得手段は、映像を映像表示標準姿勢で表示中に利用者による所定操作を検知することにより、前記検知情報を取得し、

前記表示手段は、前記検知情報を取得した場合に、前記縮小映像として、前記映像を縮小及び映像表示標準姿勢から90度回転した縮小回転映像を生成してもよい。
25

この構成によれば、携帯電話機は、映像を画面に表示中に、利用者による所定操作を検知すると、映像を縮小及び90度回転して、縮小回転映像を生成し、

生成した縮小回転映像と、表示情報とを並べて画面に表示することができる。これにより、携帯電話機は、映像の表示中に、所定の操作を検知すると、映像の表示を中断することなく、表示情報を表示することができる。また、表示する映像を縮小及び映像表示標準姿勢から90度回転することにより、表示する映像の内容を常に保障しつつ、表示情報の表示が可能となる。さらに、このとき、表示する映像は、利用者が携帯電話機を操作するときの携帯電話機の画面にて正立した状態となるため、利用者にとって見やすいものとなる。

ここで、前記表示手段は、さらに、前記画面を2分割した一方であり前記第1表示領域とは異なる大きさの第3表示領域と、前記画面のうち当該第3表示領域を除く第4表示領域との面積の比率である新たな比率情報を受け付けると、受け付けた比率情報に基いて、前記縮小回転映像を再縮小又は拡大し、再縮小又は拡大した前記縮小回転映像を前記第3表示領域にて表示し、前記識別情報を前記第4表示領域にて表示してもよい。

この構成によれば、携帯電話機は、記憶している比率情報とは異なる比率情報を受け付けることにより、縮小回転映像と表示情報を並べて画面に表示する替わりに、受け付けた異なる比率情報に基いて、縮小回転映像を再縮小又は拡大し、再縮小又は拡大した縮小回転映像と表示情報を並べて表示することができる。これにより、予め記憶している面積比率以外の比率にて、映像と表示情報を表示することができる。

ここで、前記携帯電話機は、さらに、操作指示を利用者より受け付ける操作指示受付手段と、前記表示手段にて、操作の対象を切り替える切替指示を利用者より受け付ける切替指示受付手段と、前記切替指示受付手段にて前記切替指示を受け付けると、前記操作指示に基く操作の対象を前記縮小回転映像の表示に関連する第1機能から前記表示情報に関連する第2機能へ切り替える、又は前記第2機能から前記第1機能へ切り替える操作切替手段とを備えてもよい。

この構成によれば、携帯電話機は、縮小回転映像と表示情報を画面に表示している場合に、利用者より切替指示を受け付けると、操作指示に基く操作の対象を切り替えることができる。これにより、利用者は、操作の対象を切り替えることにより、第1機能及び第2機能の操作が可能となる。

ここで、前記操作切替手段は、前記操作指示に基く操作の対象として、前記第1機能及び前記第2機能の何れかを示す出力先情報を記憶しており、前記切替指示を受け付けると、前記出力先情報を前記第1機能を示す情報から前記第2機能を示す情報へと書き換えて記憶、又は前記出力先情報を前記第2機能を示す情報から前記第1機能を示す情報へと書き換えて記憶し、前記操作指示受付手段は、前記出力先情報にて示される情報に応じて、前記操作指示を前記第1機能及び前記第2機能の何れかへ出力してもよい。

この構成によれば、携帯電話機は、利用者により切替指示を受け付けると、記憶している出力先情報を第1機能を示す情報から第2機能を示す情報へと書き換えて記憶、又は前記出力先情報を第2機能を示す情報から第1機能を示す情報へと書き換えて記憶し、操作指示受付手段は、出力先情報にて示される情報に応じて、操作指示を第1機能及び第2機能の何れかへ出力することができる。これにより、操作の対象を切り替えることができる。

ここで、前記携帯電話機は、さらに、前記映像信号に対応する音声信号を受信して、音声を出力し、前記携帯電話機は、さらに、前記携帯電話機に対する動作指示を受け付ける動作指示受付手段と、前記動作指示を受け付けると、出力される音声の音量を調節する音量調節手段と、前記音量調節手段にて調節された音量に基づいて、音声を出力し又は消音とする音声出力手段とを備えてもよい。

この構成によれば、携帯電話機は、利用者により動作指示を受け付けると、出力される音声の音量を調節し、調節した音量に基いて、音声を出力又は消音とすることができます。

ここで、前記携帯電話機は、さらに、前記画面の両側に配された2つのスピーカと、前記2つのスピーカが前記映像の左右に位置する場合、前記テレビ放送信号中の音声を前記2つのスピーカでステレオ再生し、前記2つのスピーカが前記映像の上下に位置する場合、前記音声を前記2つのスピーカでモノラル再生する音声出力手段とを備えてもよい。

この構成によれば、利用者から見て、表示する映像の左右にスピーカが位置する場合に、音声をステレオ出力するので、前記利用者は音声のステレオ効果

を享受することができ、また表示する映像の左右以外の方向である上下方向等にスピーカが位置する場合、前記スピーカの少なくとも一方に音声をモノラル出力するので、映像の上方からステレオ音声に係る右側音声、下方向からステレオ音声に係る左側音声を聞くといった不自然さや、聞き取りにくさを感じることなく、音声を聞くことができる。

本発明の表示方法は、映像信号を受信して、映像を画面に表示し、取得手段と、生成手段と、表示手段とを備える携帯電話機で用いられる表示方法であつて、前記取得手段により、着信に係る着信情報、又は利用者による所定操作の検知に係る検知情報を取得する取得ステップと、前記生成手段により、自機への着信に係る表示情報を生成する生成ステップと、前記表示手段により、前記着信情報又は検知情報を取得した場合に、前記映像を前記画面に表示しているサイズに比べ縮小して縮小映像を生成し、生成した縮小映像を、前記画面を2分割した一方である第1表示領域にて表示し、前記表示情報を前記画面のうち前記第1表示領域を除く第2表示領域にて表示する表示ステップとを含む。

この構成によれば、携帯電話機は、着信情報、又は検知情報を取得すると、画面に表示している映像と、自機への着信に係る表示情報を2分した画面のそれぞれに表示するので、画面への映像表示を中断することなく、当該表示情報を使用者に通知することができる。

例えば、携帯電話機は、テレビ放送やテレビ電話等の映像を画面に表示中に、電話や電子メールの着信が発生した場合に、テレビ放送やテレビ電話等の映像を表示したまま途切れるさせることなく、着信に関する、発信元の電話番号やメールの送信元のメールアドレスなどの表示情報を表示することができ、また、開閉式の筐体で構成された携帯電話機において、筐体を閉状態でテレビ放送やテレビ電話等の映像を画面に表示中に、利用者が筐体を開状態にしたことを検出した場合に、テレビ放送やテレビ電話等の映像を表示したまま途切れるさせることなく、着信に関する、発信元の電話番号やメールの送信元のメールアドレスなどの表示情報を表示することができる。

ここで、前記着信情報は、発信元を識別する識別情報を含み、前記生成ステップは、前記識別情報に基づき前記表示情報を生成してもよい。

日本国特許庁 11.8.2005

この構成によれば、携帯電話機は、着信に係る情報、又は利用者による操作に係る情報を取得すると、画面に表示している映像と、自機への着信に係る表示情報である発信元の識別情報とを2分した画面のそれぞれに表示するので、画面への映像表示を中断することなく、当該表示情報を使用者に通知すること

5 ができる。

例えば、携帯電話機は、テレビ放送やテレビ電話等の映像を画面に表示中に、電話や電子メールの着信が発生した場合に、テレビ放送やテレビ電話等の映像を表示したまま途切れるさせることなく、着信に関する、発信元の電話番号やメールの送信元のメールアドレスなどの表示情報を表示することができる。

10 ここで、前記取得ステップは、前記取得手段により、映像を映像表示標準姿勢で表示中に利用者による所定操作を検知することにより、前記検知情報を取得し、前記表示ステップは、前記表示手段により、前記検知情報を取得した場合に、前記縮小映像として、前記映像を縮小及び映像表示標準姿勢から90度回転した縮小回転映像を生成してもよい。

15 この構成によれば、携帯電話機は、映像を画面に表示中に、利用者による所定の操作を検知すると、映像を縮小及び90度回転して、縮小回転映像を生成し、生成した縮小回転映像と、表示情報とを並べて画面に表示することができる。これにより、携帯電話機は、映像の表示中に、所定の操作を検知すると、映像の表示を中断することなく、表示情報を表示することができる。また、表
20 示する映像を縮小及び映像表示標準姿勢から90度回転することにより、表示する映像の内容を常に保障しつつ、表示情報の表示が可能となる。さらに、このとき、表示する映像は、利用者が携帯電話機を操作するときの携帯電話機の画面にて正立した状態となるため、利用者にとって見やすいものとなる。

ここで、前記携帯電話機は、さらに、前記表示部の両側に配された2つのスピーカと、音声出力手段とを備え、前記表示方法は、さらに、前記音声出力手段により、前記2つのスピーカが前記映像の左右に位置する場合、前記テレビ放送信号中の音声を前記2つのスピーカでステレオ再生し、前記2つのスピーカが前記映像の上下に位置する場合、前記音声を前記2つのスピーカでモノラル再生する音声出力ステップを含んでもよい。

日本国特許庁 11.8.2005

この構成によれば、利用者から見て、表示する映像の左右にスピーカが位置する場合に、音声をステレオ出力するので、前記利用者は音声のステレオ効果を享受することができ、また表示する映像の左右以外の方向である上下方向等にスピーカが位置する場合、前記スピーカの少なくとも一方に音声をモノラル出力するので、映像の上方向からステレオ音声に係る右側音声、下方向からステレオ音声に係る左側音声を聞くといった不自然さや、聞き取りにくさを感じることなく、音声を聞くことができる。

本発明のプログラムは、映像信号を受信して、映像を画面に表示し、取得手段と、生成手段と、表示手段とを備える携帯電話機に適用されるプログラムであって、前記取得手段により、着信に係る着信情報、又は利用者による所定操作の検出に係る検出情報を取得する取得ステップと、前記生成手段により、自機への着信に係る表示情報を生成する生成ステップと、前記表示手段により、前記着信情報又は検知情報を取得した場合に、前記映像を前記画面に表示しているサイズに比べ縮小して縮小映像を生成し、生成した縮小映像を、前記画面を2分割した一方である第1表示領域にて表示し、前記表示情報を前記画面のうち前記第1表示領域を除く第2表示領域にて表示する表示ステップとをコンピュータに実行させる。

この構成によれば、携帯電話機は、着信情報、又は検知情報を取得すると、画面に表示している映像と、自機への着信に係る表示情報を2分した画面のそれぞれに表示するので、画面への映像表示を中断することなく、当該表示情報を使用者に通知することができる。

例えば、携帯電話機は、テレビ放送やテレビ電話等の映像を画面に表示中に、電話や電子メールの着信が発生した場合に、テレビ放送やテレビ電話等の映像を表示したまま途切れるさせることなく、着信に関する、発信元の電話番号やメールの送信元のメールアドレスなどの表示情報を表示することができ、また、開閉式の筐体で構成された携帯電話機において、筐体を閉状態でテレビ放送やテレビ電話等の映像を画面に表示中に、利用者が筐体を開状態にしたことを検出した場合に、テレビ放送やテレビ電話等の映像を表示したまま途切れるさせることなく、着信に関する、発信元の電話番号やメールの送信元のメールアド

レスなどの表示情報を表示することができる。

ここで、前記着信情報は、発信元を識別する識別情報を含み、前記生成ステップは、前記識別情報に基づき前記表示情報を生成してもよい。

この構成によれば、携帯電話機は、映像を画面に表示中に着信を受けると、
5 映像と発信者を識別する識別情報を2分した画面のそれぞれに表示することができる。これにより、携帯電話機は、映像の表示中に電話の着信や電子メールの受信等の着信が発生した旨を、映像の表示を中断することなく利用者に通知することができる。

ここで、前記取得ステップは、前記取得手段により、映像を映像表示標準姿勢で表示中に利用者による所定操作を検知することにより、前記検知情報を取得し、前記表示ステップは、前記表示手段により、前記検知情報を取得した場合に、前記縮小映像として、前記映像を縮小及び映像表示標準姿勢から90度回転した縮小回転映像を生成し、生成した縮小回転映像と、前記表示情報を並べて画面に表示してもよい。
10

この構成によれば、携帯電話機は、映像を画面に表示中に、利用者による所定の操作を検知すると、映像を縮小及び90度回転して、縮小回転映像を生成し、生成した縮小回転映像と、表示情報を並べて画面に表示することができる。これにより、携帯電話機は、映像の表示中に、所定の操作を検知すると、映像の表示を中断することなく、表示情報を表示することができる。また、表示する映像を縮小及び映像表示標準姿勢から90度回転することにより、表示する映像の内容を常に保障しつつ、表示情報を表示が可能となる。さらに、このとき、表示する映像は、利用者が携帯電話機を操作するときの携帯電話機の画面にて正立した状態となるため、利用者にとって見やすいものとなる。
15

ここで、前記携帯電話機は、さらに、前記表示部の両側に配された2つのスピーカと、音声出力手段とを備え、前記プログラムは、さらに、前記音声出力手段により、前記2つのスピーカが前記映像の左右に位置する場合、前記テレビ放送信号中の音声を前記2つのスピーカでステレオ再生し、前記2つのスピーカが前記映像の上下に位置する場合、前記音声を前記2つのスピーカでモノラル再生する音声出力ステップをコンピュータに実行させてもよい。
20

この構成によれば、利用者から見て、表示する映像の左右にスピーカが位置する場合に、音声をステレオ出力するので、前記利用者は音声のステレオ効果を享受することができ、また表示する映像の左右以外の方向である上下方向等にスピーカが位置する場合、前記スピーカの少なくとも一方に音声をモノラルで出力するので、映像の上方向からステレオ音声に係る右側音声、下方向からステレオ音声に係る左側音声を聞くといった不自然さや、聞き取りにくさを感じることなく、音声を聞くことができる。

図面の簡単な説明

10 図1は、本発明の第1実施形態に係る携帯電話機の斜視図である。

図2は、携帯電話機を閉状態とし、テレビを視聴する際の使用形態を示す図である。

図3は、携帯電話機の構成を示すブロック図である。

図4は、分割情報記憶部が有する分割情報テーブルのデータ構造を示す。

15 図5は、音量情報記憶部が有する音量情報テーブルのデータ構造を示す。

図6は、電話帳記憶部が有する電話帳テーブルのデータ構造を示す。

図7は、画面を分割した場合の表示形態を示す図である。

図8は、テレビ番組出力処理の動作を示す流れ図である。

図9は、表示制御切替処理の動作を示す流れ図である。

20 図10は、イベント通知処理の動作を示す流れ図である。

請求の範囲

1. (補正後) 映像信号を受信して、映像を画面に表示する携帯電話機であつて、
5 着信に係る着信情報、又は利用者による所定操作の検知に係る検知情報を取得する取得手段と、
自機への着信に係る表示情報を生成する生成手段と、
前記着信情報又は検知情報を取得した場合に、前記映像を前記画面に表示しているサイズに比べ縮小して縮小映像を生成し、生成した縮小映像を、前記画面を2分割した一方である第1表示領域にて表示し、前記表示情報を前記画面のうち前記第1表示領域を除く第2表示領域にて表示する表示手段と
10 を備えることを特徴とする携帯電話機。
2. 前記着信情報は、発信元を識別する識別情報を含み、
15 前記生成手段は、前記識別情報に基づき前記表示情報を生成することを特徴とする請求の範囲第1項記載の携帯電話機。
3. (補正後) 前記表示手段は、前記第1表示領域と前記第2表示領域との面積の比率を示す比率情報を記憶しており、前記比率情報に基いて、前記映像を縮小して前記縮小映像を生成することを特徴とする請求の範囲第2項に記載の携帯電話機。
20
4. (補正後) 前記携帯電話機は、さらに、前記映像信号に対応する音声信号を受信して、音声を出力し、
25 前記携帯電話機は、さらに、前記着信情報を取得すると、出力される音声の音量を調節する音量調節手段と、前記音量調節手段にて調節された音量に基づいて、音声を出力し、又は消音する音声出力手段と
を備えることを特徴とする請求の範囲第2項に記載の携帯電話機。

5. (補正後) 前記取得手段は、映像を映像表示標準姿勢で表示中に利用者による所定操作を検知することにより、前記検知情報を取得し、

5 前記表示手段は、前記検知情報を取得した場合に、前記縮小映像として、前記映像を縮小及び映像表示標準姿勢から 90 度回転した縮小回転映像を生成する

ことを特徴とする請求の範囲第 1 項に記載の携帯電話機。

6. (補正後) 前記表示手段は、さらに、前記画面を 2 分割した一方であり前記第 1 表示領域とは異なる大きさの第 3 表示領域と、前記画面のうち当該第 3 表示領域を除く第 4 表示領域との面積の比率である新たな比率情報を受け付けると、受け付けた比率情報に基いて、前記縮小回転映像を再縮小又は拡大し、再縮小又は拡大した前記縮小回転映像を前記第 3 表示領域にて表示し、前記識別情報を前記第 4 表示領域にて表示する

15 ことを特徴とする請求の範囲第 5 項に記載の携帯電話機。

7. (補正後) 前記携帯電話機は、さらに、
操作指示を利用者より受け付ける操作指示受付手段と、
前記表示手段にて、操作の対象を切り替える切替指示を利用者より受け付ける
20 切替指示受付手段と、
前記切替指示受付手段にて前記切替指示を受け付けると、前記操作指示に基く操作の対象を前記縮小回転映像の表示に関連する第 1 機能から前記表示情報に関連する第 2 機能へ切り替える、又は前記第 2 機能から前記第 1 機能へ切り替える操作切替手段と
25 を備えることを特徴とする請求の範囲第 5 項に記載の携帯電話機。

8. (補正後) 前記操作切替手段は、
前記操作指示に基く操作の対象として、前記第 1 機能及び前記第 2 機能の何れかを示す出力先情報を記憶しており、前記切替指示を受け付けると、前記出力

先情報を前記第1機能を示す情報から前記第2機能を示す情報へと書き換えて記憶、又は前記出力先情報を前記第2機能を示す情報から前記第1機能を示す情報へと書き換えて記憶し、

5 前記操作指示受付手段は、前記出力先情報にて示される情報に応じて、前記操作指示を前記第1機能及び前記第2機能の何れかへ出力することを特徴とする請求の範囲第7項に記載の携帯電話機。

9. (補正後) 前記携帯電話機は、さらに、前記映像信号に対応する音声信号を受信して、音声を出力し、

10 前記携帯電話機は、さらに、
前記携帯電話機に対する動作指示を受け付ける動作指示受付手段と、
前記動作指示を受け付けると、出力される音声の音量を調節する音量調節手段
と、
前記音量調節手段にて調節された音量に基づいて、音声を出力し又は消音とする
15 音声出力手段と
を備えることを特徴とする請求の範囲第5項に記載の携帯電話機。

10. (補正後) 前記携帯電話機は、さらに、

前記画面の両側に配された2つのスピーカと、

20 前記2つのスピーカが前記映像の左右に位置する場合、前記テレビ放送信号中の音声を前記2つのスピーカでステレオ再生し、前記2つのスピーカが前記映像の上下に位置する場合、前記音声を前記2つのスピーカでモノラル再生する音声出力手段と
を備えることを特徴とする請求の範囲第1項に記載の携帯電話機。

25

11. (補正後) 映像信号を受信して、映像を画面に表示し、取得手段と、生成手段と、表示手段とを備える携帯電話機で用いられる表示方法であって、前記取得手段により、着信に係る着信情報、又は利用者による所定操作の検知に係る検知情報を取得する取得ステップと、

前記生成手段により、自機への着信に係る表示情報を生成する生成ステップと、
前記表示手段により、前記着信情報又は検知情報を取得した場合に、前記映像
を前記画面に表示しているサイズに比べ縮小して縮小映像を生成し、生成した
縮小映像を、前記画面を2分割した一方である第1表示領域にて表示し、前記
5 表示情報を前記画面のうち前記第1表示領域を除く第2表示領域にて表示する
表示ステップと
を含むことを特徴とする表示方法。

12. (補正後) 前記着信情報は、発信元を識別する識別情報を含み、
10 前記生成ステップは、前記識別情報に基づき前記表示情報を生成する
ことを特徴とする請求の範囲第11項記載の表示方法。

13. (補正後) 前記取得ステップは、前記取得手段により、映像を映像表示
標準姿勢で表示中に利用者による所定操作を検知することにより、前記検知情
15 報を取得し、
前記表示ステップは、前記表示手段により、前記検知情報を取得した場合に、
前記縮小映像として、前記映像を縮小及び映像表示標準姿勢から90度回転し
た縮小回転映像を生成する
ことを特徴とする請求の範囲第11項に記載の表示方法。

20 14. (補正後) 前記携帯電話機は、さらに、前記表示部の両側に配された2
つのスピーカと、音声出力手段とを備え、
前記表示方法は、さらに、
前記音声出力手段により、前記2つのスピーカが前記映像の左右に位置する場
合、前記テレビ放送信号中の音声を前記2つのスピーカでステレオ再生し、前
25 記2つのスピーカが前記映像の上下に位置する場合、前記音声を前記2つのス
ピーカでモノラル再生する音声出力ステップ
を含むことを特徴とする請求の範囲第11項に記載の表示方法。

日本国特許庁 11.8.2005

15. (補正後) 映像信号を受信して、映像を画面に表示し、取得手段と、生成手段と、表示手段とを備える携帯電話機に適用されるプログラムであって、前記取得手段により、着信に係る着信情報、又は利用者による所定操作の検出に係る検出情報を取得する取得ステップと、

5 前記生成手段により、自機への着信に係る表示情報を生成する生成ステップと、前記表示手段により、前記着信情報又は検知情報表示する表示ステップとをコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。

16. (補正後) 前記着信情報は、発信元を識別する識別情報を含み、
10 前記生成ステップは、前記識別情報に基づき前記表示情報を生成することを特徴とする請求の範囲第15項記載のプログラム。

17. (補正後) 前記取得ステップは、前記取得手段により、映像を映像表示標準姿勢で表示中に利用者による所定操作を検知することにより、前記検知情報を取得し、

15 前記表示ステップは、前記表示手段により、前記検知情報を取得した場合に、前記縮小映像として、前記映像を縮小及び映像表示標準姿勢から90度回転した縮小回転映像を生成することを特徴とする請求の範囲第15項に記載のプログラム。

20 18. (補正後) 前記携帯電話機は、さらに、前記表示部の両側に配された2つのスピーカと、音声出力手段とを備え、

前記プログラムは、さらに、
前記音声出力手段により、前記2つのスピーカが前記映像の左右に位置する場合、前記テレビ放送信号中の音声を前記2つのスピーカでステレオ再生し、前記2つのスピーカが前記映像の上下に位置する場合、前記音声を前記2つのスピーカでモノラル再生する音声出力ステップをコンピュータに実行させることを特徴とする請求の範囲第15項記載のプログラム。